

CAD 開発のキャパがアサイン管理の脱 Excel 化に向け 開発リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」を導入

開発プロジェクトの予実の見える化を通じ、生産性向上も目指す

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、製造業・建設業を中心とした CAD アプリケーション・設計部門アプリケーションの受託開発を手がける株式会社キャバ（本社：東京都千代田区、代表取締役会長：吉良 平四郎、以下「キャバ」）が、2023年2月、プロジェクト管理のDXを目的として、開発リソース最適化プラットフォーム「Co-Assign」（コアサイン、<https://www.co-assign.com/>）を導入したことを発表します。



「Co-Assign」導入背景

キャバでは、約 60 名のエンジニアのアサイン管理（プロジェクトへの人員割当）を、これまで独自の Excel フォーマットで行ってききましたが、ファイル管理の煩雑さと予実管理の精度に課題を感じていました。例えば Excel 管理ではリアルタイムでのスタッフの稼働状況が見えにくいことから、日々めまぐるしく開発案件が行き交う中、どうしても最適な人員配置が難しく、予算と実績で 5%以上の差が発生してしまうこともありました。そのような中で、アサイン管理と予実管理にフォーカスした「Co-Assign」を 2022 年 12 月にトライアル導入いただきました。その後、ユーザーインターフェースの使いやすさと課題感へのマッチ度を評価いただき 2 月に正式導入となりました。

- ・ 導入事例詳細：https://www.co-assign.com/post/jirei_vol3

「Co-Assign」について

「Co-Assign」は、要員の稼働計画を「高い解像度」でチーム内に共有することができるアサイン管理の脱 Excel サービスです。以下の効果を提供します。

・ 要員計画の脱 Excel 化

プロジェクトごとの稼働予定を管理し、人軸、プロジェクト軸で切り替えて見ることができます。

・ 受注キャパシティの拡大

受注予定案件の要員計画を、月ごと・受注確度ごと集計できます。本当に不足する人材・スキルがわかるため、最適な人材配置を行うことができ、結果、受注キャパシティが拡大します。

・ 予実管理による粗利率の向上

進行中のプロジェクトごとに、稼働時間を入力することができます。プロジェクトごとの予実がリアルタイムでチームに共有されるため、粗利率が悪化する前に、対策を取ることができます。

今後の展望

キャパでは、今後は同社の SFA（営業支援）ツールやプロジェクト管理ツールとの連携も視野に、さらなる「Co-Assign」の活用を検討しています。アイリッジでは今後も、機能追加や使いやすさの改善を含めた「Co-Assign」のサービス向上を通じて、プロジェクト管理の DX を支援していく予定です。

株式会社キャパについて

会社名： 株式会社キャパ (<https://www.capa.co.jp/>)

本社所在地： 東京都千代田区神田岩本町 1-14 KDX 秋葉原ビル 2F/8F

設立： 1982 年 10 月

代表者： 代表取締役会長 吉良 平四郎

取締役社長 小甲 健

事業内容： -CAD カスタマイズ

-BIM/CIM コンサルティング・受託開発

-BIM 教育サービス

-AR/VR 開発

-APS 開発

-AI/センシングデバイス開発

株式会社アイリッジ

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO (Online Merges with Offline) 支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、VUI (音声インターフェース)、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績を持ち、スクラッチ開発・パッケージ・機能拡張のすべてのアプリ開発と、アプリの運用・マーケティング施策に対応できるアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始予定です。

<https://iridge.jp/>

※記載されている各社の会社名、サービス名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。